

<記入例>

細則様式第9号(第3条関係)

借入状況等申告書

全ての項目について、必ず「有・無」のどちらかに印をしてください。

1. 借入状況

他の金融機関等からの借入状況の有無について、必ずどちらかに印をしてください。

住宅金融支援機構	有無	銀行	有無	その他公庫	有無	労働金庫	有無
信用金庫	有無	信用組合	有無	消費者金融	有無	信販会社	有無
地方公共団体による住宅融資等	有無	互助会	有無	個人	有無	その他	有無

上記で「有」に印したものについて、以下に記入してください。

他の金融機関等からの借入状況記載欄									
借入先	既借入分					新規借入分			
	借入日	借入額(万円)	現在の残高(円)	毎月の償還額(円)	ボーナスの償還額(円)	借入日(予定)	借入額(万円)	毎月の償還額(円)	ボーナスの償還額(円)
〇〇銀行	H17.4.1	100	800,000	15,000	30,000	H22.9.1	1,300	40,000	80,000
互助会	H19.6.1	50	300,000	10,000	0				
計				(A) 25,000	(F) 30,000			(B) 40,000	(G) 80,000

他の金融機関等の借入がある場合、償還状況が確認できる書類を添付してください。
例) 金融機関発行の償還予定表の写し等

共済組合からの借入状況記入欄								
貸付種類	既借入分					今回借付申込分		
	借入日	借入額(万円)	現在の残高(円)	毎月の償還額(円)	ボーナスの償還額(円)	貸付申込額(万円)	毎月の償還額(円)	ボーナスの償還額(円)
入学普通	H18.10.25	100	837,785	15,261	0	100	15,173	30,346
計				(C) 15,261	(H) 0		(D) 15,173	(I) 30,346

据置中で利息分のみ返済中の方でも、「貸付償還表」に記載されている償還額を記入してください。

「貸付償還表」に記載されている償還額を記入してください。ボーナス償還ありの場合は貸付決定月に対応する「ボーナス併用償還 償還額表」の「毎月の償還額」と「ボーナスの償還額」を記入してください。

「毎月の償還額」・「ボーナスの償還額」欄は、借替の場合記入不要です。

毎月の償還額 (A) + (B) + (C) + (D) =	95,434	円 (E)
ボーナス償還額 (F) + (G) + (H) + (I) =	140,346	円 (J)

2. 給料月額に対する毎月の償還額の割合

毎月の償還額 (E)	給料月額 (K)	割合% [E ÷ K × 100]
95,434 円	350,000 円	27.27 %

給料月額(K)に対する毎月の償還額(E)の割合が、30%を超える場合は、貸付ができません。
短時間勤務職員については、給料を「報酬」と読み替えて記入してください。

3. 年収額に対する年間償還額の割合

年間償還額 { E × 12 + J × 2 } (L)	年収額 { K × 12 + K × 4 } (M)	割合% [L ÷ M × 100]
1,425,900 円	5,600,000 円	25.46 %

年収額(M)に対する年間償還額(L)の割合が、30%を超える場合は、貸付ができません。

私の借入状況は上記事実に相違ないこと
1. この申告について、所属所長が確認
2. 裏面の記入上の注意を確認し、
3. この申告と相違する場合は、共済

給料月額(基本給)を記入してください。
標準報酬月額ではありません。
減額されている場合は減額後の給料月額を記入。
短時間勤務職員は「報酬」月額

この割合が30%を超える場合は貸付を行いません。

組合員証番号 1000

申込人氏名 岡山 太郎

申込人自ら署名する場合は、押印不要です。



(注) 申込人氏名の印は必ず、印鑑登録証明書記載の印鑑を押印すること。

自署以外の場合は、「印鑑登録証明書」の印鑑を押印